

柏原地域密着型高齢者施設太寿（特養・グループホーム）

第33回（通算回数）運営推進会議記録

開催日時 平成28年1月10日（火）AM10時30分～11時30分

開催場所 柏原地域密着型高齢者施設 太寿 1F 地域交流スペース

【構成メンバー】

入居者 2名（特養・グループホーム） 地域住民代表者（地区福祉委員）3名
入居者家族 2名（特養・グループホーム） 柏原包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 3名（常務理事兼施設長・太寿副施設長・グループホーム管理者）
構成メンバー総数 13名

【当日参加者】

入居者 0名 地域住民代表者（地区福祉委員）1名
入居者家族 0名（特養） 柏原市包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 4名（常務理事兼施設長・柏原寿光園副施設長・太寿副施設長
GH計画作成担当者）

出席者総数 8名

【議題・式次第等】

1. 開会挨拶（施設長）
2. 前回の懸案事項の回答・報告
3. 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
4. グループホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
（現時点の入居者数・待機者数・介護度別年齢別入居者等の状況説明等）
5. その他

1 開会挨拶（森田常務理事兼施設長）

平成29年最初の運営推進会議となります。本年もどうぞよろしくお願い致します。
太寿におきましては、昨年11月に介護保険法に基づく実地指導が、保険者である柏原市によって行われました。特段大きな問題はなく、概ね適正に事業が運営されていると講評いただきました。また、昨夏から法人として取り組んでいる「こども食堂」ですが、今月12日で10回目の開催となります。少しずつ子供さんの数も増えており、地域に貢献する取り組みとして、今後も地道に継続して参ります。

インフルエンザやノロウィルスといった感染症流行の季節になりました。冬休みが終わって感染拡大の危険性が高まりますので、より警戒を強めていく必要があります。対策を徹底して、施設内での蔓延防止に努めて参ります。

本日もご審議のほど、よろしくお願い致します。

② 前回の懸案事項の回答・報告

特にございません。

③ 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告(別紙により報告)

特養担当者・・・

【入居申込みや相談の状況】

◇1月9日の段階で、待機者数は「51件」です。

◇この2カ月の間に新規受付は5件、廃止は3件です。新規受付数は、ここ最近の平均的な数字です。廃止の3件は、いずれも入居希望のご本人が死亡されたことが理由となります。

★ 入居に関する相談以外に、太寿での相談受付にはもう一つの顔があります。それは、「柏原市地域包括支援センター・ランチ窓口」です。

柏原市には地域包括支援センターの拠点としてオアシス内3階に「高齢者いきいき元気センター」があります。いきいき元気センターが「本店」で、ランチ窓口はいわば「支店」のようなものです。この窓口では介護サービスに関することはもちろん、それ以外の柏原市の福祉サービスや制度に関すること、困りごとの相談、その他もろもろ・・・高齢者に関するあらゆる相談を受け付けております。

地域のより身近なところの相談窓口ということで、柏原市内には当施設を含めて8か所のランチ窓口があります。まだまだ地域からの認知度は低いかもかもしれませんが、相談窓口としての機能があることを、太寿としてもどんどん地域に発信していく必要があるなと感じています。近隣のお住まいの方が気軽に立ち寄れる相談所となれるように、地域に根差す法人として積極的に取り組んでいきたいと考えています。

【入居者様の状況】

◇【退居】11月に2階東ユニットの女性入居者1名が退居となりました。

この方は91歳と高齢ではありましたが、比較のお元気に暮らされておりました。しかし、11/12に夜間帯に急激な状態変化があり、緊急搬送をして懸命な治療を受けられましたが状態は改善せず、同日に息を引き取られました。急なご逝去で同ユニット内の他の入居者さんに動揺が伝わらないよう、細心の配慮をいたしました。

亡くなられた入居者様は太寿での生活をとても気に入っておられ、数多く実施しているイベントやユニットスタッフとのコミュニケーションを楽しんでおられました。そのことを家族様もよくご存じで、「人生の締めくくりを好きな太寿さんで過ごすことができ、本人も幸せだったと思います」とのお言葉をいただきました。

◇【入居】選考会の結果、下記の方を選考し、ご入居いただきました。

2階東ユニット 女性・92歳・要介護5・11/28入居

介護老人保健施設よりご入居されました。現状では自宅への復帰は困難で、今春より特養の空き待ちをされていました。ご入居の決定に、ご家族様も喜んでおられました。11/28にご入居され、比

較的早い段階で雰囲気にもなじまれ、その後穏やかに過ごされています。

◇ 12月6日より3階西の女性入居者が入院されていましたが、年内に無事退院されました。お正月を太寿で迎えることができ、ご本人さま・ご家族さま共に喜んでおられました。

その後、医療機関に入院されている方はおられず、みなさん安定して過ごしておられます。

◇ 今年はインフルエンザ以上に、感染性胃腸炎・ノロウィルスの感染が全国的に流行していると報道されています。幸い、当施設におきましては感染された事例は無く、現在まで経過しております。今後、冬休みが明けて流行の勢いが加速する危険性がありますので、冬季の感染症対策を例年通り実施し、感染予防に努めて参ります。

【最近の取り組み】

[この間に開催したボランティア様によるイベント]

アニマルセラピー・二胡演奏会・いきいき歌体操・コーラスの会・ニュースポーツ
けん玉・ギター演奏・紙芝居&手遊び・落語会・コーラスと日本舞踊
ちぎり絵製作会・音楽あそび・笑いのヨガ

これまでと同様にイベントをたくさん企画し、みなさんに楽しんでいただくことができました！季節柄、イベントの中でクリスマスやお正月にちなんだ演出をしていただいたボランティアさんが多かったです。ひと工夫をしていただき、とてもありがたいことです。

◇ 12/29に恒例の“もちつき”を行いました。ノロウィルスの流行でもちつきを自粛することが多いとの報道を耳にしておりましたが、当方のもちつきに参加していただくのは「不特定ではなく特定の方」であり、事前の体調確認とイベント開催中の感染予防策を徹底し、安全と判断して実施いたしました。その後も特に問題なく経過しました。

日本の昔からの習慣・伝統行事、餅つきの雰囲気にも年の瀬を感じたり、昔の思い出話に花が咲いたりするなど、会場内はとても良い雰囲気に包まれていました。

◇ お正月、新年に最初に口に入れる食べ物は、各ユニットで趣向を凝らして手作りしました。お雑煮やお屠蘇についても日本の風習であり、正月の雰囲気を皆様に感じていただくことができました。

◇ 正月らしい演出として、恒例の“鏡割り”や“獅子舞”なども行いました。

4 グループホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告（別紙により報告）

※グループホーム担当者・・・

【入居申込みや相談の状況】

◇1月9日の段階で、待機者は「0」です。

【入居者様の状況】

◇【退居】開設当初よりこちらで生活されていた男性入居者が、身体状態の低下やその他の理由のため、ご家族様の希望に基づいて10月に当法人内特別養護老人ホーム柏原寿光園に入居さ

れることになり、当グループホームは退居となりました。

- ◇【入居】その後、ご縁があって男性（要介護 2）に 10 月下旬に入居していただきました。入居当初は慣れない環境に戸惑われていましたが、関わりを持つことによって徐々に落ち着いてこられました。現在では当初に見られた帰宅願望も無くなり、他の入居者とも馴染んで穏やかに過ごされています。
- ◇【退居】12 月に女性入居者 1 名が市内病院に入院され、食事摂取をはじめとして状態が芳しくなく、医療ニーズの高い状況になったことから、ご家族様のご意向に基づき、当グループホームを退居されることになりました。
- ◇この間、転倒される事故が 12 月に 2 件、1 月に 1 件ありました。事故内容をしっかりと検証し、リスクを少なくすることができるように対応していきます。

【最近の取り組み】

- ◇9 月 外食で「回転寿司」に全員で行き、普段とは違う食事を楽しみました。
- ◇10 月 “秋の遠足”として、奈良の馬見丘陵公園に行きました。秋のフラワーフェスティバルの真っ最中で、色とりどりの花を満喫していただきました。
- ◇12 月 季節のイベントとして、グループホーム内でクリスマス会を開催しました。また、特養と合同で年の瀬に恒例の“餅つき”も行いました。
- ◇1 月 正月三が日は、お節料理をはじめとし、新年祝賀ということで普段よりちょっぴり豪華な食事を楽しんでいただきました（蟹すき・すき焼き等）。
- ◇皆様に楽しみをもって生活をしていただくことができるよう、様々な企画や日々の関りをより充実させていただきたいと考えています。

次回開催は平成 29 年 3 月 14 日（火）AM10：30～11：30となります。